

# シルバー人材センター フェア



10月25日(木)と26日(金)に府中市シルバー人材センターフェアが、フォーリス1階「光と風の広場」で開催されました。前日24日夜に必要な機材や備品などを関係者で運び込み、翌日の本番に備えました。25日は会長の挨拶、全員ミーティングののち、10時開店と同時にフェア開始です。手作り作品販売や刃物研ぎ資料展示、着付けデモンストレーション、パソコン体験・相談、書道教室展示・体験、襖・障子張替相談、植木剪定相談、入会・就業相談などがそれぞれのブースを設けて、揃いのハッピーやエプロン姿で活動をアピールしました。



今年、フェア開催をちゅうバス車内広告や京王線の駅張りポスターで初めて宣伝した上、草花の鉢植えの無料配布の効果もあり、多くのお客さまに、フェアに来ていただくことができました。来年度からは、社会福祉協議会と共催での「ふれあい会館まつり」に移行するので、フォーリスでのシルバー人材センターフェアは今年で最後となりました。

## 亥年生まれの元気な会員さん



放課後子ども教室  
(けやきッズ)  
米濱 喜久子さん  
(今年72歳)

現在、第一小学校で就業している米濱喜久子さん。業務員は、男女各6名の12名がおり、各日6名が就業しています。業務は、放課後(1時から5時半まで)1年生から6年生の児童の見守り、簡単な手芸や工作を教えたり、時には勉強のヒントを教えたり、相談事などを聞くこともあります。基本となるマニュアルは、市役所作成のものがありますが、手順はそれぞれが工夫しています。業務で気を付けていることは、「言い聞かせはする



運転班  
本田 純一さん  
(今年72歳)

現在、運転班に就業している本田純一さん。業務は、植木班の道具配達・回収や、公園除草班の回収袋の回収を行っています。7年前に入会されましたが、その動機が、友人がシルバー人材センターの面接に行く時に一緒に来たのがきっかけでした。主に運送関係の仕事に従事していた関係で、シルバー入会后、運転班に配属され現在に至っています。最近、高齢者による運転事故が目立っているため、業

が、ケガをしない・させない」「あいさつをすることを教える」ことです。シルバー入会の動機は、以前府中市内の小学校で同様の仕事をされていて、運営組織が変わったため、辞めていまして、知人から聞いて、シルバー人材センターの説明会に参加したことです。昨年4月に入会されました。出身は仙台市で、青葉城址の近くに学校があり、広瀬川で遊んだことや、泥んこ遊び、缶蹴りなどが想い出のことです。短大を卒業後東京に出て、永らく幼稚園の先生をしておられました。府中に住んで10年以上たちます。モットーは、「何事もあきらめず、失敗を恐れず、楽しく挑戦すること」です。



務仲間の顔合わせの際には、「ヒヤリハット」をモットーに「常に事故のないように！」と声を掛け合っています。特にお年寄りや女性・子供の自転車には気を付けています。また、取り扱う品物は重量があるので、荷台への上げ下ろしには、怪我のないように注意しています。福島県に生まれ、6歳の時に東京に移居し、その後府中に住んで50年以上がたちました。シルバーに入ってから思ったと思う点は、いろいろな経験を持った人たちと仕事をしてみると自分が知らないことを聞いて勉強になることです。特に気にかけていることは、言葉の使い方です。子供の頃に親から「言葉はいったん口から出たら直せないから、気を付けて話せ」と言われたことを守るようにしています。